

総理主催「桜を見る会」追及チーム



野党合同ヒアリングで追及する田村議員(奥側の最前列左から3人目)と各野党議員。奥側の最前列右端は、共産党の宮本徹衆院議員=11月12日、国会内

# 「桜を見る会」

## 野党がチームで追及

日本共産党の田村智子参院議員の国会質問をきっかけに大問題となった「桜を見る会」。野党は追及チームを立ち上げ、首相による国政私物化疑惑の真相究明に結束してとりくんでいます。

# 野党の国会共闘 大きな力に

大学入試への英語民間試験の導入延期、「桜を見る会」の私物化疑惑の追及など、国民のたたかいと野党の結束した追及が政治を動かし、安倍政権を追いつめています。

## 英語民間試験

### 高校生とともに延期させる

大学入試への英語民間試験の導入は延期となりました。現役高校生をはじめとした市民の強い反対とともに、野党が一致して中止をせまった成果です。さらに、国語と数学の記述式試験の導入中止をもとめる法案を11月14日に野党共同で提出しました。



相次ぐ閣僚の辞任、英語民間試験の導入延期をうけて開かれた野党の緊急全議員集会(共産、立民、国民、社保、社民の5野党・会派が参加)。各党の党首・代表者がそろってあいさつ。志位和夫委員長(右から3人目)と鈴木恵二国対委員長(左から2人目)=11月1日、参院議員会館